

1月の予定		
1	水	☎年始休暇
2	木	☎年始休暇
3	金	☎年始休暇
4	土	☎年始特別保育（要申込）
5	日	
6	月	☎年始特別保育（要申込）
7	火	
8	水	🎵音楽
9	木	
10	金	☎おもちつき ▶👁️見学、🎵🎵🎵体験 🕒🕒鏡開き集会
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	🕒🕒Enjoy English
15	水	🎵音楽、🎵運動、🕒茶道
16	木	🕒剣道
17	金	☎12・1月生誕生会
18	土	大掃除（職員）
19	日	
20	月	
21	火	🕒🕒Enjoy English
22	水	一般指導監査 市による実地監査 ➡和室を使用するため、茶道お休み
23	木	🕒剣道
24	金	🕒近隣園 年長児交流 コンビ保育園・ゆめ和はいくえん
25	土	
26	日	
27	月	🎵リズム
28	火	🕒🕒Enjoy English 🕒剣道
29	水	🎵音楽、🕒茶道
30	木	
31	金	🎵YY

2月の主な予定

3日（月） 🎵豆まき集会

20日（木） ☎進級・卒園写真撮影

21日（金） 🕒姉妹園ドッジボール交流

🕒🎵お弁当の日

28日（金） 🕒YY柔軟発表会

その他 避難訓練・身体測定

かのんだより

令和2年

1月号

あけましておめでとうございます。

年末年始のお休みはいかがでしたか？子どもたちはお家の方と充実した時間を過ごせたでしょうか。

さて、いよいよ年度の締めくくりとなる大切な時期になってきました。たいよう組は就学に向けて意識が高まっていますが、他の子どもたちも進級へ向けた準備が始まっています。特につき組とにじ組の子は、「移行」のスタートとなります。徐々に進級後のクラスの活動となっていく、活動時間やお仕事の内容が少しずつ変化していきますので、子どもたちにとっても新鮮な日々になることでしょう。そうはいっても、新しい環境や活動に対して不安な気持ち、少し難しいのではないかとという心配事は、子どもだけでなく保護者の方も当然出てくることと思います。子どもたち一人ひとりの様子に合わせて柔軟に援助をしていきたいと考えておりますので、何かお気づきの点がありましたら小さなことでも構いませんので、連絡帳や保育士までお知らせください。

▶ おもちつき 1/10（金）

1月10日（金）、おもちつきをする予定です。お餅を喉につまらせないことと衛生面には十分に気を付けて行いたいと思います。もちつきを実施しないところも増えているようですが、日本の伝統行事に触れて、子どもたちが楽しめるようにと考えています。

ただし、次のような感染症対策をとらせていただきます。

◆子どもが食べるお餅は、餅つき機で作ったものです。※実際についたお餅は、子どもの口には入りません。

◆ただし、もち米を蒸かす工程はもちつき機ではなく外の蒸籠で行います。

その「おふかし（つく前の蒸したもち米）」も子どもたち（そら組以上）に食べてもらう予定です。

◆「お持ち帰り用のお餅」はありません。

▶ おもちつきの保護者のお手伝いについて

▷今年度は、お手伝いではなく「**自由参観形式**」に変更したいと思います。

▷自由参観ですので、（おもちつきの時間内であれば）出入りの時間はお任せします。玄関脇の小道を通して、園庭にお越し下さい。（例えば、ご自身の子どもが搦く頃を見計らって来ていただき、搦き終わり次第お仕事に向かっていただく、というスタイルでも構いません。）

▷特にご参観の人数制限は設けませんが、参観希望の方は事務室前カウンターに参観希望用紙をお出ししております（目安の時間もお示ししています）ので、当日までにご記入下さい。

▶ 特別保育申込みについて

▷年末年始の特別保育利用申込書のご提出ありがとうございました。また、家庭保育にご協力していただいたご家庭におかれましては、この場をお借りしてお礼申し上げます。

▷さて、この度、役所より保護者からの匿名のご意見があったとのお知らせがありました。

内容は「**特別保育というものの可及及び利用申込書を提出することが保護者の負担になっている**」というものでした。なお、役所からは指導対象ではない（園の裁量の範囲内である）旨の確認を得ていますが、園の姿勢と考え方を説明すべきだとは思いました。

匿名のため直接お返事差し上げることができませんので、この場を借りて釈明致します。

まず、特別保育の可否についてですが、問題ないと考えています。なぜならば、

①保護者のご協力（任意）の下で家庭保育（お休み等）をお願いしています。

②特別保育においては、ご両親のいずれかがお休みの場合、家庭保育を強くお願いしておりますが、それは本来であれば通常保育の日でも同様の取り扱いにすべきことです（認可保育園としてのルール）。

③特別保育においては、育休中のご家庭に対しても家庭保育を強くお願いしております。その理由は、育休中は本来、保育要件である「保育の必要性」がないからです。保育園に在籍しているのだから預かるべきだというご意見もあるかもしれませんが、そもそもそれは「育休退園」というような不利益から守るために、育休中であっても（保育の必要性がなくても）、「園長の意見書」を提出した上で保育利用継続を認めてもよいという制度があるからです。そうであっても園の勝手は許されるべきではありませんが、お休みのご協力（任意）を請う特別保育（それもお盆・年末年始・年度末の限定的な日程）が許されないとは思えません。

④上記②③の場合でも、ご事情をお聞きして柔軟に保育の受け入れをしておりますし、その実績も十分にあります。

⑤入園前の見学時や入園後の説明（オリエンテーションや面談）、重要事項説明においても、丁寧に説明差し上げているつもりです。

以上、①～⑤の点から、特別保育の制度面・運用面の双方において問題ないと考えます。

また、これは余談ですが、かのん保育園では園独自の子育て支援として、例えばフレッシュ保育を柔軟に受け入れたりもしています。お互い様と言ったら何ですが、園としては杓子定規に運用するよりも、相手の事情を慮って柔軟に運営することに心血注いでいるつもりです。

次に、利用申込書を提出していただくこと、についてです。

そもそも、特別保育を行う第一義的な趣旨は、保育における保育士の手配・調整のためです。保育園はカレンダーの赤い日（日曜・祝日）以外は年中無休ですし、福祉施設のため原則として休園日を設けることが許されません。ですから、子どもから離れての保育の準備や、保育士がゆとりと休日を取得することがなかなか難しい労働環境です。そのため、お盆や年末年始など、世間的・一般的にお休みをしやすい時期において、家庭保育のご協力をお願いできないかの促しとお伺いを立てさせていただいているのです。もちろん、普段から基準以上の保育士人数を準備したりなど、運営上できる努力はさせていただきますが、保育士不足の昨今、限界も感じています。加えて、かのんは土曜保育の利用人数が多いこともあり（姉妹園比較で、3倍前後の人数を推移しています）、振替休日を回すのが精一杯という現状もあります。

以上を踏まえ、子どもの保育時間をなるべく正確に把握することが、上記趣旨（無駄のない保育士の手配調整が可能になることによって、保育準備や休日取得の可能性が広がること）につながります。また、ご提出いただいた利用時間をはみ出たりしても、園として咎めたことはいないと思います。利用申込書を提出していただくことは確かにお手間かもしれませんが、保育利用日・時間を予め記載していただくことが受忍できないほどの大きな負担とは思えません。保育士のため、ひいてはご自身の子どものために直結することをご理解いただき、協力していただけたら有り難いです。よろしく願います。（ちなみに、年度末3月の特別保育については、求める理由が「保育の準備」であり保育士は不足なく在園していること、また、ほとんどの業種のお仕事が繁忙期と理解しておりますので、例年、申込書のご提出は求めています。）

▶ クリスマス会アンケートのご意見について一部ですが回答します。 ※紙面スペースと要約の都合上、多少表現を変えています。

- ▷職員劇の観覧について、ラストとなるたいよう組の保護者さんは、優先席（最前列の椅子席）を優先的にご案内したらどうでしょうか？
→確かに、今回のたいよう組さんのアンケート回答では「最後なので寂しい」という意見を多数いただきました。嬉しく思うと同時に、ご指摘の点についても配慮しても良いのかなと思いました。

▷モニターについて

- ・モニターの音声が少し聞き取りにくいと思いました。
- ・モニターの画質の改善、コマ送りのような映像になって見づらく、定点カメラのため個々の識別がしづかったです。
- モニター（カメラ）の改善や増設については、年に1度のことでありますので、コストパフォーマンスと時期を考慮しながら決断させて下さい。

▷「ヤマタノオロチ」の題材について、幼児にしては少し渋め感じました。

- ヤマタノオロチを題材に選んだ理由は、天皇陛下御即位の年だったからです。ヤマタノオロチを倒して尻尾から出てきた天叢雲剣は、即位の際に用いられた三種の神器のうちの一つです。クリスマス会の劇を通じて、いつかこういった色々なことに興味と知識が広がってほしいなと願いながら保育士たちは準備しています。渋めセレクトだったかもしれませんが、そこは流石、楽しそうに演じていましたね！

▷（乳児クラス）当日着ていく服を保育士から伝えられている家庭と伝えられていない家庭がありました。

- 子どもによっては、衣装を着ることが不快な刺激になることがあります。練習時点で衣装を好まないことを把握できた子の保護者には、（衣装を着られなくても浴け込むように）衣装と似たような色合いの服を個別にお願いすることがあります。

▷プログラム記載のタイムテーブルよりも大幅に時間が早まっていた件について

- ・「合奏の時間が大幅に前倒しになっていたので気をつけてほしかったです。一旦自宅に戻り予定時間に間に合うように行くと、もう終わっていました。本番中親を探して不安になりながら演奏していた子どもの気持ちを思うと切ない気持ちになりました。」
- ・「合奏と歌の時間が30分も早まり、見るできませんでした。多少の時間の前後は承知していますが、分単位のタイムテーブルは何のためにあるのでしょうか？30分予定が早まっていたのに終了時刻が予定通りというのは、先生方のお楽しみが長かったからでしょうか？楽しみにしていた発表会を見ることをできなかったのは大変残念ですし、親の姿を探しながら歌っていたと思うと心が痛みます。この時間は戻らないので残念でなりません。」
- ・その他にも「予定の時間よりも早まる場合はアナウンス等していただければ幸いです」など、同様の意見が散見されました。
- 大変申し訳ございませんでした。ここに書かれている親としての気持ちは、今後の戒めとして胸に刻んでいきます。
- 時間が早まった原因は、①園としてはタイムテーブルをあくまでも「目安」としてしか捉えていなかったこと（タイムキープするつもりがそもそもなかったこと）、②可能な限りどんどん時間を巻いていく姿勢であったこと、③普段の練習やリハーサルは通常保育と並行して行う都合上、人手が足りない状況で行う必要があったが、本番は練習時よりも多少の人手があることで準備に要する時間が短く済んだこと、④今年度の劇において、支度・着脱に時間がかかる衣装（着物など）がなかったこと、が考えられます。
- では、来年度以降はタイムキープしていくことが良いのかと考えると、それも疑問を覚えます。というのは、どこで時間が押してしまうのか見当がつかないからです。時間が押すと、子どもたちも腹ぺこになり、不機嫌になったり、不測の事態も招きやすくなりますから、それだけは避けなければなりません。ですから、「巻けるときに巻く」という姿勢は維持すべきかと考えます。
- タイムテーブルの趣旨は、おおよその見通しがつくことによって出番をストレスなく待てるようにするためです。「タイムテーブルの目安があることで、一旦1階で過ごして会場の混雑を回避できたりと、気持ちよく過ごせました」というご意見も多数頂いておりますので、来年度以降も時間のお示しについては継続して記載していきたいと思います。
- 一方で、分単位までお示ししていたことは、園としてもタイムキープを前提にするとミスリードさせてしまった原因であったと反省しております。
- そこで、ご指摘の通り「アナウンスを丁寧に行う」ということと同時に、下記の対策を検討しています。
 - ・プログラム内に、「あくまで目安であり、時間の進行には大幅なズレが生じる可能性がある」旨のご案内を明記する。
 - ・タイムテーブルではなく、プログラム毎の目安の所要時間を記載する。（「〇時〇分～〇時〇分」ではなく、「上演時間20分間程度」など）
- 「お楽しみ（サンタ・職員劇）」が長かったから、というのはその通りだと思います。「お楽しみ」においては、通しでの練習がほぼ行えないため、時間を読むことが非常に難しいです（子どもたちの着替えも相まって）。
- 一つお願いがあります。「行事中に保護者の方が自宅に戻られる（会場内に保護者がいない）」ということについては、園としては全く想定していませんでした。なので、今後は下記の点をお願いしていきたいと思います。

クリスマス会・運動会というような行事は、「保護者とともに」参加することとさせていただきます。

このような行事も、確かに保育の一環ではあるのですが、お預かりとしての保育とは一線を引きたいと思います。保護者が会場内にいることを前提として行事を行っているからです。実際、今年度も姉妹園のクリスマス会であったことですが、準備中に体調が悪くなった子や、緊張で崩れて機嫌が悪くなった子がいました。その際は、会場にいる保護者の方と連携・相談をしながらでないとし行かなくなってしまうます。
- もし、一旦どうしても会場から離れなければならないようなご事情がある場合は、園にご相談下さい。

▷観覧席の後ろのスペースに三脚を立ててのカメラ撮影をされると、その前に立っての観覧が難しくなります。

禁止にするか、せめてご自分のお子様の出番の時のみにされるなどのご配慮が欲しいと思いました。

- 三脚設置についてのルールを考えます。

▷業者カメラマン（はいチーズ）のストロボ（ピーピーという音）が気になりました。（複数の同意見あり）

- 園としても把握しておりますので、来年度の先方への要望書に記載します。

▷終了後の解散について、とても混み合っており、子どもにとって危険な場面がありました。お迎え後もスムーズに帰らない方々もいらしたので難しいかとは思いますが、どうにか退場を少しずつに区切れないものかと感じました。

- 退場の区切りは一応クラス毎に刻んでいるのですが、不十分だったかもしれません。
- 加えて、階段付近をお迎え場所にしていることも大きな原因の一つだと考えられます。お迎え場所の分散（ホール前方ステージ側からの引き渡し等）が可能かもしれませんので検討させていただきます。また、合流後の速やかな移動の促し、もしくはスペースを用意するなど併せて検討します。

▷先生方のお楽しみの劇の完成度が高く、負担になっていないか、無理をされていないか、余計なお世話かもしれませんが心配になりました。

- ありがとうございます。職員の励みにすると同時に、運営責任者としては気をつけてまいります。

▷小学生（卒園児）の観覧について

- ・優先席に卒園児が子どもたちだけで座って見ていたりするのが気になります。他の保護者が不快に思わないでしょうか。
- ・（小学生の意見）優先席に行ったが、背が低いので全然見えなかった。子ども席（小学生席）があると良いのと思いました。
- 小学生（卒園児）の観覧ルールを設けるべきかもしれません。考えてみます。
- ・（小学生の意見）ボランティアを兄姉などをお願いすればどうか？
- 兄姉のボランティアサークルについては、いずれ発足したいなと思いつつも、調整・管理や責任などの点をクリアできず、進展せずにおります……。

▷プログラムによっては、始まりが少しわかりにくかったかな、と感じました（気付いたら始まっていました）。

- これも、時間を巻くことに意識がいったことの表れだったかもしれません。
- メリハリがつくような工夫を考え、落ち着いて運営していきたいと思います。

▷合奏の際の最前列は、優先席にいても人で隠れてしまっていて見えづらかったです。

- ステージ下については、業者による動画撮影でも映し切れていませんでした。申し訳ございませんでした。